



二俣川小だより

3月号

横浜市立二俣川小学校

令和3年2月25日

校長 泉 太郎



「春到来、巣立ちゆく6年生へ」

校長 泉 太郎



三寒四温といわれますが、まさに寒い日と暖かい日を繰り返しながら春本番を迎えようとしています。正門横の河津桜も今まさに満開を迎え、ピンクの花弁と空の青さのコントラストがとてもきれいです。1年生が植えたチューリップの球根も芽が出始めました。校庭で遊ぶ子どもたちの数も増えてきたように感じます。



春は出会いと別れの季節でもあります。二俣川小学校の6年生もまもなく卒業を迎えます。先日卒業式に向けて初めての練習が行ったときに、6年生に次のような話をしました。

いつもの年だと、校長先生は6年生に、校外学習や行事のたびに、「今日はこんなことができた、こんな行動が素晴らしかった、最高学年の姿だった。」などと話したり褒めたりするのだけれど、今年はコロナ禍の中でなかなかそれができなかった。今年の6年生は、いろいろ活動や行事が中止・変更になる中で、不満に思ったり、不安に思ったりしたこともあったと思う。しかし、それを感じさせないで、毎日を落ち着いて学校生活を送り、1年生から5年生にその姿を見せたことが最高学年の姿として本当に素晴らしかった。

卒業証書授与式は、みんなが6年間の小学校生活を終えたことを認める、小学校では最も大切な行事。これから始まる練習には、自分の小学校生活6年を振り返りながら、そして、6年間支えてくれた人（家族や先生、身近な人など）に感謝の気持ちをもちながら取り組んでほしい。



3月19日（金）、横浜市立二俣川小学校、卒業証書授与式。感染症拡大防止対策のため、保護者の皆様の出席は1名とさせていただきますが、6年間の教育課程を終え、中学校、そして、未来へ巣立っていく95名の子どもたち一人一人に卒業証書を手渡し、皆様と一緒に送り出すことを楽しみにしています。



令和2年度の教育活動へのご理解・ご協力、ありがとうございました

教職員一同

最初の緊急事態宣言が発令され、誰もが経験したことのない一斉臨時休業でスタートした令和2年度ですが、一年間かけようやく収束の兆しを感じられようになった中終えようとしています。子どもたちはこの一年、様々な制限や負担がかかった中生活してきました。学校でも、中止にしたり、違う形で実施したりした教育活動や行事がありました。それでも、子どもたちは一步一步を進め、確実に成長することができたと感じています。コロナ禍でかわいそうではなく、未曾有の経験をした子どもたちは、これからの社会を生き抜く力をつけたのではないかと考えています。この一年、保護者の皆様にはご心配・ご不安をかけたことが多かったと思います。そんな中でも、子どもたちのために二俣川小学校、そして、教職員を支えていただき感謝申し上げます。また、今年度は多くの地域行事は中止となってしまいましたが、いつもと変わらず子どもたち、学校を温かく支援していただいた地域の皆様にも心より感謝申し上げます。